

## 糖尿病・肥満動物測定試薬(レビスシリーズ)選択ガイド

メーカーコード	キット名	検体量 ( $\mu$ L)	お薦め検体	特に注意すべき事項
AKRIN-011RU	レビス インスリン-マウス(RTU)	10 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	⑤、⑥
AKRIN-011T	レビス インスリン-マウスT	10 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	⑤、⑥
AKRIN-031	レビス インスリン-マウス(Uタイプ)	5 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	溶血注意、⑤、⑥
AKRIN-011S	レビス インスリン-マウス(Sタイプ)	5 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	溶血注意、⑤、⑥
AKRIN-011H	レビス インスリン-マウス(Hタイプ)	10 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	⑤、⑥
AKRIN-010RU	レビス インスリン-ラット(RTU)	10 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	⑤、⑥
AKRIN-010T	レビス インスリン-ラットT	10 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	⑤、⑥
AKRIN-130	レビス インスリン-ラット(U-Eタイプ)	10 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	⑤、⑥
AKRIN-010S	レビス インスリン-ラット(Sタイプ)	10 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	⑤、⑥
AKRIN-010H	レビス インスリン-ラット(Hタイプ)	10 $\mu$ L	血清、血漿②、培地④	⑤、⑥
AKRIN-012T	レビス インスリンキット(イヌ)	10 $\mu$ L	血清、血漿②	⑤、⑥
AKRIN-013T	レビス インスリンキット(ブタ)	10 $\mu$ L	血清、血漿②	⑤、⑥
AKRIN-014T	レビス インスリンキット(サル)	10 $\mu$ L	血清、血漿②	⑤、⑥
AKMPI-111	レビス プロインスリン-マウス/ラット	10 $\mu$ L~	血清、血漿(ヘパリン or EDTA)	溶血注意、⑥ エーテル検体は禁
AKRCP-031	レビス C-ペプチド マウス(Uタイプ)	10 $\mu$ L	血清、血漿③、培地④	検体のpHを確認、⑥
AKRCP-030	レビス C-ペプチド ラット(Uタイプ)	10 $\mu$ L	血清、血漿③、培地④	検体のpHを確認、⑥
AKRLP-011	レビス レプチン-マウス	10 $\mu$ L~	血清、血漿③	⑥
AKMAN-011	レビス 高分子アディポネクチン-マウス/ラット	①	血清、血漿③、培地④	⑥
AKMGP-011	レビス GLP-1(Active)	10 $\mu$ L~	血清、血漿③、培地④	溶解阻害剤を必ず エーテル検体は禁、 ⑥
AKRAL-121	レビス アルブミン-マウス	①	血清、血漿②、培地④、尿	⑥
AKRAL-120	レビス アルブミン-ラット	①	血清、血漿②、培地④、尿	⑥

- ①取扱説明書にある希釈倍率を参考に適当倍率に緩衝液で希釈し測定用希釈検体としてください。  
 ②ヘパリンのご使用をお薦めします。  
 ③抗凝固剤にはヘパリン、EDTA-2Na、クエン酸のいずれかをご使用ください。  
 ④培地中に妨害物質が含まれていないことを予めご確認後ご使用ください。  
 ⑤検体中のインスリンの失活にご注意ください。  
 ⑥血清分離剤、分離促進剤のご使用は避けてください。  
 ※検体のpHは6.5~7.5の範囲内で調整してください。  
 ※抗凝固剤の最終濃度:ヘパリン(1.2~12 U/mL)、EDTA-2Na(1.0~1.5 mg/mL)、クエン酸Na(0.8~1.0 %)

各製品の詳細は弊社営業グループへお問い合わせください。

e-mail: [wksb-info@fujifilm.com](mailto:wksb-info@fujifilm.com)

<URL><http://www.shibayagi.co.jp> TEL. 0279-25-0279 FAX. 0279-23-0313

富士フイルムワコーシバヤギ株式会社 〒377-0007 群馬県渋川市石原1062番地1